



いざという時のために
メモして携帯しよう!

災害用伝言ダイヤル

もしものときは「171」

クリニックの情報を得られます

まずは「171」

最初の選択は「2」

クリニックの電話番号を
市外局番から

市外局番 ()

—

プッシュ電話は
「1」に続いて「#」を、
ダイヤル式は
そのまま待つ

伝言内容を確認

繰り返し「8」「#」
次「9」「#」

memo

透析送迎の現状と これからのを考える



インド福祉村協会の理事長に三木会長就任

認定特定非営利活動(認定NPO)法人「インド福祉村協会」の理事長に6月、三遠メディメイツの三木隆治会長が就任、同時に事務局長に渡辺康二専務理事が任命されました。インド福祉村協会は1987年にインド医療と幼児教育の充実を目的に設立された非営利法人で、1998年には医療に恵まれない人々のために、インド北部のクシナガラに「インド福祉

村病院(現地名・アーナンダ病院)を開設し、結核やマラリアといった感染症の治療をはじめ、公衆衛生の普及や人材教育に努めています。また、妊婦の保健衛生教育にも力を注ぎ、出産や育児に関する保健衛生教室も実施。こうした医療の提供が日本でも高く評価され、国際協力機構や日本国際協力システムなどから支援を受けています。

透析治療に血管専用エコーを導入

豊橋・豊川・磐田の各メイツでは、細い血管も高画質の画像にクリアに映し出す超音波診断装置「Venue40」を導入しました。この血管専用エコーを使うことで、血管と針先の位置が明確になり、

透析時の穿刺が今まで以上に安全かつ迅速に行えるようになりました。



<特集>

メイツスペシャル対談

Katsutoshi Kumagai

×
Manabu Hoshino

通院困難な患者さんに欠かせない
送迎サービスについて語り合う



三遠メディメイツ
事務局長
熊谷 勝年
(くまがい かつとし)

豊橋メイツで送迎サービスの管理責任者を務める。現在、工事が進んでいる豊橋メイツ新築プロジェクトの責任者でもある。趣味はゴルフで、三遠メディメイツのコンベの事務局にもなっている。



スターフィールド
マネジャー
星野 学
(ほしの まなぶ)

豊橋メイツの送迎責任者として活動。介護福祉士の資格を保有し、自宅のベッドから病室まで対応する介護・福祉タクシーの業務にも従事する。

メイツの今をレポート クローズアップ「メイツ」
スタッフ日記「日々百景」

三遠メディメイツのこころを伝える

Miki's Colum 「送迎システムの課題」

メイツインフォメーション

豊橋メイツクリニック
内科・腎臓内科・透析内科・循環器内科・血管外科

TEL.0532-66-1010

院長:柴田 雅也
愛知県豊橋市平川南町73

豊橋鉄道 路面電車「井原」または「運動公園前」下車 徒歩5分
豊橋駅より20分

豊橋メイツ睡眠障害治療クリニック
内科・呼吸器内科・耳鼻咽喉科

TEL.0532-66-5678

院長:小池 茂文
愛知県豊橋市東光町50

豊橋鉄道 路面電車「井原」下車 徒歩3分
豊橋駅より20分

<http://suiminmukokyu.jp/>

豊川メイツクリニック
腎臓内科・透析内科

TEL.0533-80-7575

院長:万見 利之
愛知県豊川市野口町ツイツ51-1

名鉄豊川線「八幡」駅 下車 徒歩15分
県道5号線(姫街道)野口町交差点を北進、300m先を左折

岐阜メイツ睡眠障害治療クリニック
内科・呼吸器内科

TEL.058-272-9300

院長:田中 春仁
岐阜県岐阜市碓田南4丁目15-20

JR西岐阜駅より「西ぎぶくるるバス」で10分
(岐阜メイツクリニック北バス停下車)
JR「岐阜」駅・名鉄「岐阜」駅より岐阜バス20分
岐阜羽島駅・岐阜羽島ICより20分

<http://suiminmukokyu.jp/>

磐田メイツクリニック
内科・透析内科

TEL.0538-33-0248

院長:松田 秀一
静岡県磐田市大原705-1

磐田駅よりバス「静岡産業大学前」下車、徒歩5分
東名高速 磐田インターより15分

磐田メイツ睡眠障害治療クリニック
内科

TEL.0538-39-0300

院長:新島 邦行
静岡県磐田市中田648-1

JR豊田町駅(北側ロータリー)より徒歩5分
磐田バイパス森岡ICより南へ5分

<http://suiminmukokyu.jp/>

自分で通院できない透析患者さんの送り迎えをする「無料送迎サービス」は、ひとり暮らしで高齢の患者さんや家族が送迎できない患者さんにとって、欠かすことのできない大切な通院手段です。メイツでは専門業者に業務を委託し、安全な送迎を行っています。円滑な運行には患者さんの協力と理解が不可欠です。そうした点について、送迎の窓口になっている熊谷勝年事務長と、実際の送迎を担当しているスターフィールドの星野学さんが語り合いました。



スターフィールド

星野学さん

三遠メデイメイツ

熊谷勝年 事務長



「人の心と心が通い合う 送迎サービスを提供したい」

さまざまな工夫と思いやりで
透析患者さんの送迎車を運行

熊谷 通院困難な透析患者さんの送迎をスターフィールドさんに委託したのは、確か8年前の2003年でしたね。

星野 そうです。現在、車イスの方も安心なリフト付きのワンボックス車を使って、豊橋メイツ・豊川メイツ・磐田メイツの各クリニック



で送迎をしています。送迎方法は

クリニックによって多少違う部分はありませんが、基本的には同じ方向に住んでいる患者さんごとに運行ルートを設定し、1台につき4人〜5人の患者さんに相乗りしていただいています。

熊谷 ただ、透析はその日の症状や体調によって、治療内容が変わったり、時間が延びたりすることがあります。同じルートの患者さん全員が同じような時間に治療を終えることはほとんどありません。透析後はできるだけ早く帰ってあげたいのですが、豊橋メイツでは、帰りの待ち時間が1時間

もので、スターフィールドさんをお願いしているのは、患者さんの自宅とメイツを結ぶ運行だけに限られています。



送迎の利用には守ってほしい
いくつかの約束事があります

星野 送迎時の注意事項についても、お話しさせていただきます。患者さんの中には、「買い物に行きたいから途中で降りしてくれ」「ほかの病院に寄ってくれ」など、個人的な理由で寄り道や下車を求めてくる方がいらっしゃいます

が、このようなサービスはお断りしていますのでご理解いただきたく思います。

熊谷 この送迎サービスは、通院困難な透析患者さんに提供する

星野 また、自宅内での介助にも対応できません。ちなみに、この送迎業務とは別なんです。当社には介護・福祉タクシーの事業もありますので、無料送迎車を待ちたくない方や自宅での介助を希望する方は気軽にお問い合わせください。

熊谷 最後に、送迎中の注意とお願いを付け加えます。残念なことには、同乗者間で不愉快を感じる言動や行動があると時々耳にします。透析治療を受けた後は、とても疲れていると思いますが、患者さん同士がお互いを思いやる気持ちをもって、送迎サービスを利用してほしいですね。

半くらいになることもあります。

星野 相乗り運行なので待ち時間はできてしまいます。送迎の現場では、アイデアを出しながらさまざまな工夫を重ねています。当社のスタッフは担当している患者さんだけでなく、ほかの車に乗る患者さんの住所も頭に入っていますので、治療の進捗状況を把握し、たとえば、車両の組み替えやルート

の調整を行っています。こうしたことにより、できる限りスムーズな送迎を行っています。現実問題としては、どうしても患者さんからの不満の声はでてきますね。熊谷 スパッと解消するのはなかなか難しい課題ですが、将来的には、帰宅便の発車時間の表示、遅れが発生した場合のアナウンスなど、患者さんの負担が少しでも軽減するように改善したいと思っています。



from 豊川メイックリニック



夜空も大輪、笑顔も大輪

いつも院内に彩りと癒しを届けてくれる写真の前で笑っているのは、写真の主である長谷川徳恵さんです。長谷川さんは終戦直後、風景写真を撮りたいと、月給二千五百円の時代に一万二千円のカメラを購

入。それ以来、旅先で出会った風景を写真で残すことがライフワークになりました。最近ではデジタル派が増えています。長谷川さんは断然アナログ派で、「フィルムカメラは発色が違いますし、いろんな撮り方ができるんです」と言います。右の写真はフィルムを巻かず、手筒花火が下部、打ち上げ花火が中央、さらにしだれ花火が上部に入るように、一枚の写真をとるのに、一回の写真を撮るとのこと。ほかにも写真の魅力が伺えそうなので、長谷川さんを見かけたら気軽に声をかけてみてはいかがでしょうか。

スタッフ日記 日々百景

免震構造の新メイックリニックは順調に工事進行中!

メイックの気になるニュースや新しい情報をピックアップ!
今回は今年4月に始まった豊橋メイックの新築工事を徹底レポートします。

豊橋メイックの新クリニックは現在、来年夏の開院を目指し、建築工事に入っています。今回の新築工事は、患者さんが安心してより良い診療を受けられるように行われるもので、設計から工事まで1年半かけて、免震構造の5階建てを建設します。豊橋メイックの建物はこれまでも耐震構造でしたが、新しいクリニックでは地震の振動を軽減する免震構造を採用しました。直径1m・長さ11mもある20本の杭を地中16mまで打ち込み、建物の基礎部分に免震装置を設置します。なお、同時に工事が進められているメイックアクティブライフルクラブは、来年の冬にオープンする予定です。



メイックの今をレポート!
CLOSE UP MATES

from 磐田メイックリニック



宿場町・磐田の歴史を探訪する

「浜松城は磐田に建っていたかもしれない」。そんな話を耳にしたので、実際に çıkかけて確かめてきました。その城は徳川家康が遠州支配の拠点にしようと建てられたもので、現在は磐田城山球場になっています。

当時、このあたり一帯は見付と呼ばれ、政治文化の中心でした。その後、家康の拠点が浜松に変わり、遠州の中心的な役割を譲り渡すことになりましたが、その後東海道の宿場町として栄えました。見付本通りでは、脇本陣となった三河屋の門が移築復元されていたり、歩道上に小路の案内版が埋め込まれていたりと、今でも当時の面影や賑わいを偲ぶことができます。磐田市は歴史がとてと古く、日常見ている風景の中にも遺跡やそれにつながる様々なエピソードが潜んでいます。

スタッフ日記 日々百景

from 豊橋メイックリニック



「朝倉さん、今日も交通整理ありがとう」

新築工事中の豊橋メイックには、トラックや重機が頻繁に出入りしています。しかも、出入口の道路はクルマの交通量が多いうえ、高

校生の通学路にもなっていて、自転車の往来も結構あります。そうした現場の交通整理を行っているのが、日本パトロールの朝倉敏夫さんです。今年の夏はとてと暑かったにもかかわらず、「一般の方を危険な目にあわせてはいけません」と炎天下でも一日中立ちっぱなしで、顔も真っ黒に日焼け。本当にご苦労様です。おかげでメイック職員はもちろん、患者さんや近所の人も安心して通行できるんですよ。そんな朝倉さんは、帰って飲む冷たい一杯が最高とか。次の日にまた頑張れるエネルギーになるそうです。

スタッフ日記 日々百景



from 磐田メイツ
睡眠障害治療クリニック

10月で開院1周年を迎えます

磐田メイツ睡眠障害治療クリニックは、今年10月で開院1周年を迎えます。これも患者さんをはじめ、地域の方々や関係者のおかげと感謝しております。

開院当初から多くの患者さんに来院していただき、少しずつではありますが、地元根付いた睡眠医療を行うことができようになりました。また、最近では企業からの健診依頼も増えて、当院の診療方針のひとつである「睡眠障害へ対応する勤労者の健康管理」も行えるようになってきました。これからもより良い睡眠医療を提供することができるよう、スタッフ一同頑張っ行ってきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

スタッフ日記 日々百景

from 豊橋メイツ
睡眠障害治療クリニック



院内勉強会「佐藤塾」を開催

わたしたち睡眠医療部では、講師の先生による院内勉強会を行っています。今回は筑波大学大学院・人間総合科学研究科の佐藤誠教授をお招きし、ホテル

アークリッシュ豊橋で「佐藤塾」と題した勉強会を開催しました。佐藤教授は筑波大学附属病院の睡眠呼吸障害診療グループ長も務めるなど、睡眠医学のエキスパートです。当日は無呼吸の歴史や無呼吸になりやすい顔の形など、睡眠の基礎からわかりやすくお話いただきました。日頃このようなお話を聞く機会があまりありませんので、とても興味深々、大変勉強になりました。今回の勉強会で得た知識を今後の診療に活かしていきたいと思ひます。

スタッフ日記 日々百景

from 岐阜メイツ
睡眠障害治療クリニック



睡眠時無呼吸症候群による交通事故を防止

睡眠時無呼吸症候群には、自覚症状がないということをご存知でしょうか。そのため、気づかないうちに病状は悪化していきます。重症になると、心臓や脳内血管に負担がかかり、高血圧や心臓病といった合併症を

誘発するなど、生命にかかわってきます。もうひとつ注目すべきは、日中の眠気による交通事故。米国の調査では、睡眠時無呼吸症候群の患者が交通事故を引き起こす危険性は、健康な人の2~7倍という結果が出ています。当クリニックでは昨年度、岐阜県のトラック協会とバス協会の指定医療機関となり、各業界の睡眠時無呼吸症候群時検診を実施しています。今後も地域に信頼される専門医療機関として、睡眠時無呼吸症候群による交通事故の防止に協力していきたいと考えています。

スタッフ日記 日々百景



送迎システムの課題

三遠メディメイツ会長 三木隆治



透析患者さんには現在、障害者手帳や医療費免除制度など様々な社会的支援制度があります。しかし、社会的支援制度だけでは補いきれない課題もいまだ数多く存在しているのです。今回対談でも取り上げている、独力では透析施設に来ることができない患者さんの問題もそのひとつです。

そうした対策として多くの民間透析医療機関が独自に送迎を行っていま

すが、実はここには不安定な課題が含まれています。この送迎には国や地方団体からの関与や支援は一切なく、各医療機関の経費で運営。平たく言えば持ち出しで行っているのです。このような状況で、透析医療費が大幅に切り下げられた場合、無料送迎にも悪影響を与えることは明白です。わたしたちは今後の医療費の動向を注意深く見守っていかねばなりません。